

第66回建築士会全国大会「鹿児島大会」女性委員会セッション

## 思いつきりバージョンUP! Part2 ～女性も青年も参加したい「魅力ある建築士会」とは～

日 時 : 令和6年10月25日(金) 10:00～12:00

会 場 : カクイックス交流センター 3階 大研修室1 / オンライン

### ■主 旨

多様性やジェンダーフリーが求められる現在、それがあたりまえとなる社会を目指している中、進行する国内の人口減少と少子高齢化に、全国の建築士会は深刻な会員減少に悩み続けています。会員増強に決定的な策がないと思われる状況で、各都道府県の現状や活動報告を聞き、情報、意見交換をすることで、前回に引き続き建築士会のあり方について、全国的に再考する機会にしたいと考えています。

だれもが参加しやすい、入ってよかったと思える「魅力ある建築士会に」するにはどうすればよいか。在籍する私たち自身が「思いつきりバージョンUP!」できるような、楽しく、時には熱く語り合える場になればと思います。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

### ■プログラム

- 総司会 : 齊藤 裕美 (連合会女性委員会 副委員長)
- 10:00～10:10 開会挨拶  
令和6年度 第33回全国女性建築士連絡協議会東京大会報告 :  
石貫 方子 (連合会女性委員会 委員長)
- 10:10～11:55 事例報告コーディネーター :  
小林 淑子 (連合会女性委員会 副委員長)
- 事例報告 : 萩原 香 (群馬建築士会)  
曾我部千鶴美 (大阪府建築士会)  
小玉 志帆 (広島県建築士会)  
松田 まり子 (沖縄県建築士会)  
長瀬 八州余 (岐阜県建築士会)  
吉田 幸恵 (北海道建築士会)  
大泉 みどり (山形県建築士会)  
櫻井 澄子 (栃木県建築士会)  
高垣 晴夫 (和歌山県建築士会)
- ※報告者や報告順序は変更となる場合があります。
- 11:55～12:00 閉会挨拶 : 筒井 裕子 (連合会女性委員会 副委員長)

■日本建築士会連合会女性委員会 HP <http://kenchikushikai.or.jp/torikumi/jyosei-iinka>

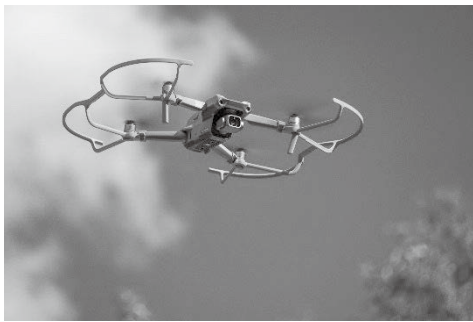




**事例報告③ 広島県建築士会「プロジェクトD ～挑戦者たち～」小玉 志帆（広島県建築士会）**

近年、建設業界はDXに対する関心が高まっています。DXは、デジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセス、企業文化を変革し、新たな価値を創造する取り組みです。特に建設業界においては、DX化においてドローンは重要なツールひとつです。そこで広島県建築士会女性委員会では青年メンバーと協働でドローン部隊を立ち上げ、今後の活動に新たな展開を見出す一助としています。

2024年6月中四国ブロック広島大会では、体験型講習会「未来少年エピソードⅣ ドローン、できるじゃん!!」を分科会の一つとして実施し、多くの大会参加者の関心を集めました。今後ますますの活用が期待される「ドローン」を通じて、女性委員会だけでなく自県の青年委員会やその他の建築士会会員を巻き込み、また他県との繋がりを生み出す取り組みは、まさしくバージョンアップの取り組みと言えるでしょう。

**事例報告④ 九州ブロック「会員増強企画」****松田 まり子（沖縄県建築士会）**

九州ブロック青年女性協議会の会員増強企画は、会員増強費を活用して、建築士会の活動強化や新会員の獲得を目指すものです。この企画では、非会員や非活動会員、建築系の学生が建築士会のイベントに参加する際の費用を補助します。これにより、これまで参加が難しかった人々がイベントに参加しやすくなり、建築士会への関心を高めることができます。若い世代や新しい視点を持つ人々が参加することで、組織全体の活性化が期待されます。

## 2. 学生を対象とした活動 ～未来の建築士育成～

## 事例報告⑤ 岐阜県建築士会「たくみ女子会」

長瀬 八州余 (岐阜県建築士会)

建築業界への関心を高めてもらおうと、岐阜県立国際匠アカデミーと公益社団法人岐阜県建築士会が共催して企画し、建築関係の仕事で活躍する女性エンジニアと建築に関心のある女子学生らとの交流会「たくみ女子会」を年に1回、平成28年(2016年)より開催し、令和2年度、令和3年度はコロナ禍で中止となったが、令和5年度で7回開催している。

内容は2部構成になっており、第1部は、その年により内容が異なるが、建築関係の女性の講演が組まれることが多い。その後、第2部のグループトークでは、お茶とお菓子をいただきながら、女子学生数名と女性エンジニア数名でグループになり、女子学生の質問等に答えるなどの交流をしている。案内の配布は県内の工業高校を中心に配布しているが、ほかにも建築系の大学や専門学校、ハローワークなどへも配布している。

今は実績として、現れていないが、建築士会という存在を知ってもらい、建築関係の仕事に進んだとき、思い出して、士会に参加してもらえ一考になればと思っている。



(グループトークの様子)



(受付の様子)

追加として、静岡県青年委員会がおこなっている「高校生交流会」の報告も予定しています。

## 事例報告⑥ 北海道建築士会「NPO とコラボ企画」

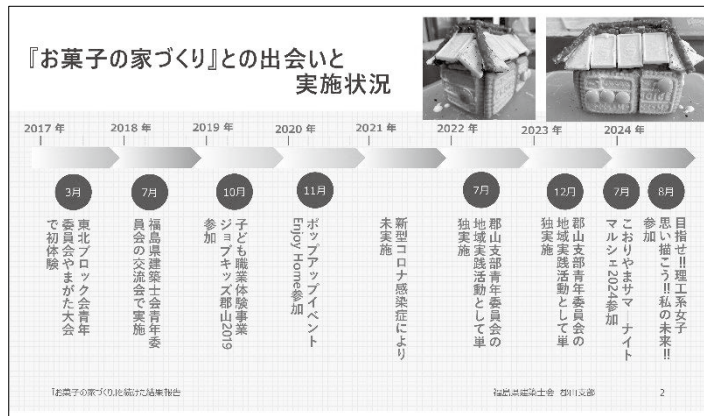
吉田 幸恵 (北海道建築士会)

【室蘭支部 学生団体とコラボ企画】室蘭工業大学には、校内のカフェを拠点にまちづくり活動をしている団体「はんもっく」[https://www.instagram.com/fan\\_fun\\_hummock/](https://www.instagram.com/fan_fun_hummock/)があります。室蘭支部管内には、建築学生(室蘭工業高校・北海道日本工学院専門学校・室蘭工業大学)が比較的多い地域です。その建築女子学生を対象に『わたしとしごと』というテーマで女性建築士3名に登壇してもらい、少し先を歩いているわたし達の道のりや現在の仕事やプライベートなどをざっくばらんに伝え、その後ワークショップを行い意見交換する。企画運営は、はんもっくと共同で行う。建築学科を卒業しても業界を離れたという声を耳にする機会も多いので、仕事・プライベート・子育てなど生の声を伝え 学生さんたちの不安解消につながり、建築業界に進んでいってもらいたい、そして資格取得後には建築士会に入会してもらいたいという狙いでの企画です。2024年10月12日実施予定。

3. 子どもたちを対象とした活動 ～未来の建築士育成～

事例報告⑦ 福島県建築士会「次世代育成プロジェクト」 大泉 みどり (山形県建築士会)

福島県建築士会郡山支部青年委員会では、造ることの楽しさや喜び、建築士の仕事を子どもたちが本物の建築士と一緒に学ぶことができるイベント「お菓子の家づくり」を毎年開催しています。実行程も、図面の作成から、建築士による図面のチェック、完了検査にまで及び、本物の建築過程と同等の本格的なものとなっています。2023年にはイベント開催時にテレビや新聞の取材が入り、2024年、遂に行政を巻き込み、市の主催で開催が実現しました！何故「お菓子の家」だったのか、どう運営しているのか、何年も継続活動を行った先に待っていた「面白い結果」を報告します。



事例報告⑧ 栃木県建築士会「みやJOYけんちく博」

櫻井 澄子 (栃木県建築士会)

栃木県建築士会・栃木県建築士事務所協会・宇都宮建設業協会、三団体主催で2024年3月24日に開催された建築・建設に関する体験型イベント「みやJOYけんちく博」に女性委員会でもブースを一つ担当しました。

イベントの目的は、①建築のかっこいい・楽しいを体感してもらい、建築・建設への興味・関心を高める。②県内の建築・建設業従事者の確保・拡大の為、事業を通じて建築の魅力を感じてもらおう。③持続可能な団体運営体制を構築する為、新規会員とアクティブ会員を増やす機会をつくる。

女性委員会のブースでは子ども向けのプランニング教室を開催。神奈川県建築士会で行われた「ちょこっとプランニング」を参考にさせていただき、栃木県の子どもの向けにプラン内容を30坪平屋戸建てにして工夫しました。「建築士になりたい」子どもが続出！参加する子どもたちの他に



も、建築学科の学生にもイベント運営に参加協力してもらい、建設業の魅力や建築士の役割などを伝えることができたのではないかと思います。これまでも女性委員会では建築士会の普及と人材育成の観点で、地域のイベントに参加するなどの活動を行ってきましたが、今回のイベントも手応えのある今後につながる有意義な機会となりました。

## 4. 一般市民を対象とした活動 ～建築士会活動への理解浸透～

## 事例報告⑨ 和歌山県建築士会「建築士サンタと巡る和歌山県庁本館」

高垣 晴夫（和歌山県建築士会）

和歌山市支部事業委員会では市内の登録有形文化財を利活用するイベントや、和歌山県内最大の近代建築である和歌山県庁本館の歴史を紹介する本「和歌山県庁本館 歴史と文化のラビリンス～迷路～」を出版し、県庁本館の価値について広く一般の方にも理解を頂く活動をして参りました。

昨年2013年12月24日は本館の有形文化財登録から10周年にあたり、その日に子供・一般市民を対象とした見学イベント「建築士サンタと巡る和歌山県庁本館」を開催しました。イベントには約60名の参加があり、サンタに扮した建築士が知事室・県議会議場・屋上など県庁本館の魅力や見どころを詳しく解説しながら案内し、参加者には魅力を感じた所を平面図に記録してもらい、その平面図と交換に県庁庁舎の記念缶バッチを贈りました。

これを主催した和歌山市支部事業委員会の委員長で、和歌山県職員の高垣晴夫氏にこのイベントを開催するに至った経緯や、いかにして和歌山県の協力を得られたのかを発表して頂き、官民協働イベントを開催していくコツや、公務員の方も一緒に楽しめる魅力ある士会活動とは何かを探ってみたいと思います。

